

	<p>会議があり、4月の教育委員会議でもお示したとおり、山口市選定委員会設置要綱を制定いたしましたところでございます。6月2日に、第1回山口市選定委員会を行い、選定の流れを確認、その後6月9日、23日、7月7日の3回の教科書研究調査委員会を経て、7月28日に第2回山口市選定委員会を開催し、その場で調査研究結果の報告を受け、平成30年度使用教科書の選定を行い、教科書が選ばれております。</p> <p>これから、ご審議をお願いいたしますが、その前に、事務局の教科書担当から補足説明がございます。</p>
宮原委員長	津守学校教育課副参事。
津守学校教育課副参事	<p>それでは失礼いたします。</p> <p>お手元でございます議案参考資料について、少し説明をさせていただきます。</p> <p>まず、1ページですが、これが先日の28日に、第2回選定委員会を開催し、そこで審議された発行者と選定された発行者の一覧です。</p> <p>それから、2ページにおきましては、選定委員会の協議の中で、選定するに至った主な理由をまとめたものでございます。</p> <p>それから、資料の3ページから5ページまでは、市内4カ所の教科書展示会で市民の皆様からいただいた意見やお考え、記載等を掲載しております。</p> <p>6ページ以降につきましては、今回の教科書の採択にかかる要請書が提出されておりますので、それらを添付しております。</p> <p>以上で資料の説明を終わります。</p>
宮原委員長	<p>それでは、これから第1号議案について、審議をいたしますが、皆様の机の上にサンプルとして小学4年生の教科書を8社分置いております。時間をとりますので、少し目をとおしていただきたいと思っております。他の学年については、会議室横のテーブルの上に置いておりますのでこちらも参考にさせていただけたらと思っております。</p> <p>(教科書の確認作業：約30分間)</p> <p>大変短い時間の中ではございますが、皆様方には目をとおしていただきました。ありがとうございます。</p> <p>先日の選定委員会で東京書籍が選定されました。それについて、佐々木委員さんから議案資料の2ページにあります選定理由についての補足説明をしていただきます。お願いします。</p>

佐々木委員

はい。それでは、資料Aの2ページの選定した理由を御覧ください。

私から、これを基本的には読み上げる形で御説明をいたします。

まず、1点目です。教師が、この教科書を使って道徳授業を実施する場合に、教科書への書き込み欄や決められた発問等が少なく、授業の展開に自由度が広がる。各クラスの子どもたちの実態に応じての資料作成、振り返りプリントの作成など、各学校の独自性が出しやすい。というものをひとつの理由としてあげております。そのことに関連するのですが、2点目にまいります。問いがたくさんあるわけではなく、教材に関わっての問いが一つと、それをもとに自分の生活を見つめていこうとする問いが一つになっており、コンパクトに整理されている。教員が、クラスの実態に応じて、その問いをもとに展開を工夫しやすい。それから3点目までいきますが、別冊のノートがなく、書き込みページの量が子どもにも教師にも負担にならない程度である。書き込みページも先生が発問作成やプリント作成などで工夫の余地があるということで、お手元の東京書籍の教科書を御覧ください。

他の教科書と比べまして、書き込み欄が少なくなっております。この4年生の教科書でしたら155ページに学習の振り返りというのがありますが、基本的には少ない。他社の中には、別冊のノートが用意されているものがありまして、例えば、日本文教出版さんのように用意されているものがございます。この選定委員会では、このように別冊のノートが存在する教科書ではなく、むしろそれが無く、教科書の中にも児童が書き込む欄がそれほど多くないほうが、教師が授業を工夫しやすかったり、展開していく上での自由度が増したりするので、そういったことの面から適切ではないかという意見でございました。

資料Aの2ページに戻ります。4点目からになります。教材の内容について、子ども達がきちんと道徳的価値について深く追究できるものが多かった。子ども達の視点でしっかりと考えられている。一つ一つの話が、その道徳的価値をしっかりと考えられる教材になっている。教材の内容については、次の点になりますが、教える側にとっても工夫しやすく、学ぶ側にとっても興味関心が向きやすく、とてもバランスがよいということで、内容的にもこのように高評価でした。この選定委員会の中で出てきた支持する教科書会社のなかでは、ほとんどの委員がこの東京書籍の教科書を口にされたかと思えます。内容面につきましても、子どもたちの学びを深く追求でき、子どもの視点でしっかりと考えられているということが理由の中にあがっております。先ほども2点目でふれましたが、教材に関わっての問いが一つと自分の生活を見つめていこうとする問いが一つ。これは、各教材の末尾に黄色いマスコットで、教材向

けの問いと自分の生活を見つめるための問いの2点が出てまいります。2点目は、そういう形で、数が多いわけではなくて、しかし、しっかりとコンパクトに整理されている形で配置されていると。それも、教材に関わったものと自分の生活を見つめていこうとする問いであると。その配置でずっと通されているということが2点目にあるのですが、そういったこととも関わりまして、内容面についても深く追求できると、繰り返しますけど自由度が高いと。これは連動しているかと思いますが、そういったことで高評価を得ました。

次の理由に移りますが、教科書の大きさも、「大きすぎず、小さすぎず」適切である。教科書の背側に最初から筋が入れてあり、子どもが教科書を開きやすくなっており、印刷の質も高い。教科書のサイズは出版社によって異なるのですが、ちょうどいい「大きすぎず、小さすぎず」適切であるという評価。それから、筋が入れてあるというのは、裏面から見て筋が入っていて開けやすいというふうになっているということでした。補足的にいいますと、表紙の方が微妙に短く、意図的にしてある教科書もあって、開きやすいような工夫がなされている会社のもものありますが、東京書籍はそれではなかったのですが、観点のひとつとしては、委員会の中で提示されて、ある委員さんは、他社のように短くなっていけばもっと良いという意見もいただきました。いずれにしても、形態面においても評価が高かったです。

資料Aの2ページ目に戻りますが、年度はじめの道徳の始まりに「自分がどんな自分になりたいか」「どんなところを成長させたいか」の視点から書くようになっており、毎年自分の成長を見つめながら進んでいくことができるようになっている。また、学び方を学んでいけるようになっているのも特徴的で、他の教科書にはないところである。ということで、この教科書でいいますとプロローグに相当するようなところ、見開きで中から広げられるようになっているところに、年度初めに、道徳の時間がはじまるよ、みんなで話し合ってみようというようなことで、多少の書き込みはありますが、自分自身を見つめて、学び方を学ぶとか、スタートの時点を大事にしているとか、そういうことにも反映がなされているということで評価を得ました。

それから、巻末の資料も学びを広げる（他教科との関連）意味からも、普段からの自分とつなげられそうな資料となっているということで、この4年生は、郷土の発展につくした人たちや郷土の作家たちが載っております、山口県では金子みすゞが載っておりますが、道徳以外の他の

	<p>教科との関連づけもしやすい資料が巻末に配置されているということです。</p> <p>以上が、主な選定理由です。先ほども申し上げましたが、この委員会の中で、ほとんど全ての委員さんが上位にあげた教科書が東京書籍でありました。ほとんどもめることもなく、結論が出たのではなかったのかなと個人的には思っております。</p> <p>以上です。</p>
宮原委員長	<p>ありがとうございました。佐々木委員さんがおっしゃるとおり、東京書籍の評価が高く、それから、他の選定委員の皆様には何冊か推薦していただいたのですが、どの委員さんも東京書籍については良いという評価をされており、他の教科書については、いろいろと意見が分かれていたような感じでした。学研がその次に評価が良かったと思いますが、他については、御意見が分かれておりました。</p> <p>それでは、何か御質問はございませんか。</p>
横山委員	<p>内容と関係のない質問ですが、東京書籍でいうと、1番後ろを見ると、3月2日に検定済みで印刷日は書いてないのですが、123ページで、郵便料金が52円となっておりますが、62円に変更して現状に合わせるのでしょうか。これが完成品となるのでしょうか。来年から使うとしたら、各先生が変更しないといけなくなると思います。</p>
宮原委員長	<p>既に62円になっているのですか。</p>
横山委員	<p>もう変更されています。</p>
宮原委員長	<p>変わらなければ、先生から料金不足にならないように伝える必要がありますね。</p>
中谷教育部長	<p>検定のタイミングなので、教科書が決まってから大量の印刷をはじめることを考えれば、まだ修正できる可能性はありますけどね。</p>
佐々木委員	<p>これは有名な話なので、たくさん出てますね。</p>
横山委員	<p>たくさん出ていますが、全部同じですね。</p>
宮原委員長	<p>学年が違って出ている可能性もあるかもしれないですね。</p>

	<p>佐々木委員 著作権のこともあるので、修正してもよいというような契約になっていけば修正するかもしれませんが、そうでなければ修正しない可能性が高いと思います。</p>
	<p>岩城委員 委員長さん、よろしいでしょうか。</p>
	<p>宮原委員長 はい。岩城教育長。</p>
	<p>岩城委員 選定理由の中にもありますが、東京書籍の教科書は、軽くて、紙質は薄いのですが丈夫な気がします。他の教科書は、割と厚い感じがします。子どもの体重からしたら、開きやすく扱いやすいと思います。中の配列も工夫してあって読みやすくなっています。弱いと思ったら、薄い割りに弱くもなさそうだから、紙質が薄くて、丈夫で、扱いやすいというところがあるなと思います。他の教科書は、手に取ると重たく感じます。</p>
	<p>宮原委員長 資料にいただいております教科書展示会の来会者の御意見の中に、3ページですが、大きい版のほうが使いやすいのではないかとの御意見がありました。大きい版では、小学生が持つと重たいですし、子どもたちがランドセルに入れて持ってくる、持って帰ることを考えたら、小さいサイズのほうがよいのではないかとの意見がありました。</p>
	<p>岩城委員 文字間隔のバランスがよく、非常に読みやすいです。</p>
	<p>宮原委員長 他に何か御意見はありませんか。 山本委員。</p>
	<p>山本委員 私は、道徳の教科書を今日始めて見させていただいたのですが、まず1つは物理的な側面があると思います。もう1つは内容的な側面があると思います。</p> <p>物理的な側面からいいますと、いろんな方が挿絵を描かれているので、なんとなく不統一感を感じる教科書の中にはあります。ただ、作る側からしたら、それがねらいなんだと。挿絵を見て内容を読んでもみたくなるという側面も決して否定はできませんから、そうなのかもしれませんけれども、いろんな挿絵の表現の仕方があって、これはこれで面白いと思う反面、不統一感があるなと思ったりもしました。</p> <p>もう1つ物理的な側面でいうと、教育長がおっしゃった、文字の大きさや配字、行間です。教科書の中には、やや目がチラつきそうなものもあります。なぜ目がチラつくのかなと思って読ませていただいたのですが、全部の字にルビが多いのかなと思ったりしました。発達段階、既習</p>

学習を前もって把握していたら、ここまでルビを打つ必要はないのではないかと考えながら除外をしていきました。

内容的なことを考えると、新しい学習指導要領では、考え議論をする道徳というのを大きな目当てにしています。山口市の子どもたちが、考えて、友達との間で議論をするということになれば、この道徳の教科書の内容が、ある意味、自分の持っている価値観を映し出す鏡になれば議論ができないと思います。登場人物がとってもいいことをしていると。そのいいことに対して、感動する子もいれば、私はこれが普通に出来ているので大したことではないというふうに思っている子どももあるだろうと思います。そういう子どもたちが、お互いの考えや価値観をぶつけ合うことで、はじめて議論が成立するものです。作品の中には、価値観の押し付けといいますか、わざとらしさ、作為的などころを感じるものもありました。そういったことを考えながら教科書を読んでいくと、東京書籍さんが、バランスが取れているなど。内容的に押し付けが少なく、自然に読んで、おやっと思うところで、いろんな子どもがおやっと思って、いろんな価値観でその「おやっ」を見つめられるのかなあという感じを持ちながら東京書籍さんのを読ませていただきました。

もちろん、挿絵のバランスもいいですし、別の教科書会社さんでは、作品の間に、「深めよう」、「つなげよう」、「やってみよう」といったことを設定されて、ここでいろんな子ども達が自分の考えを書くようなページを設けているところもあるのですが、教科書というふうに、特別な教科道徳というふうに銘打って、教科化されて、道徳が教科書になってということになれば、他の教科と同じように、私たちは、昔から教科書の価値というものを、教科書を学ぶのではなくて、教科書で学んだよと。学ぶ1つの素材として教科書があるということを考えたら、枠囲いがある、書きましよう、書きましようという統一感みたいなもの、これは、ある意味逆にいえば、子どもが家に帰って、この教科書を開いてみて、帰って見る子がいれば、それはもちろんその子にとっては、教科書で学ぶという姿勢になるんであらうと思いますし、そういう主体性をねらった教科書会社の意図であらうと思うのですが。議論して学ぶ道徳ということはこの度の目玉にしているわけですから、そういうスタンスに立てば、大勢の学級の友達の前で自分の価値観をさらけ出しながら議論するという立場に立てば、この東京書籍の内容はバランス的にもいいのかなあという感じがしました。

宮原委員長

ありがとうございました。大変わかりやすく説明していただきまして、他の教科書との違いがはっきりしてきたと思います。

他に、御意見や御質問はございませんか。よろしいでしょうか。

それでは、他に御意見や御質問等がないようでしたら、議案第1号に

	<p>つきまして東京書籍を採択するということを御承認される方は、挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>はい。ありがとうございました。 それでは、原案のとおり決定いたします。 以上で、本日の付議案件については終了いたしました。 次回の定例会は、こちらの第2会議室で、8月28日(月)午後2時からの予定です。 以上をもちまして、平成29年第10回教育委員会臨時会を閉会いたします。</p>
署名	<p>上記のとおり相違ありません。 平成29年8月1日</p> <p style="text-align: right;">委員長 _____</p> <p style="text-align: right;">署名者 _____</p> <p style="text-align: right;">署名者 _____</p> <p style="text-align: right;">会議録調製 _____</p>